

フェンスに鍵付け愛誓う

ノートルダム八戸 恋人の聖地選定記念



「恋人の聖地サテライト」に認定されたノートルダム八戸で、フェンスに記念の鍵を付けた夫婦

八戸

八戸市の結婚式場「ノートルダム八戸」が、「恋人の聖地サテライト」に選定されたことを記念した式典が12日、同式場で開かれた。認定を機に、ハート形の鍵を付けるフェンスが新たに設置され、式場側は今後、恋人たちが気軽に集う場所として活用する考え。

地域活性化支援センター（静岡市）が、地域の活性化や少子化支援のため、プロポーズにふさわしい観光地などを認定する「恋人の聖地プロジェクト」の一環。サテライトは、趣旨に賛同した企業・

団体が運営管理する施設などが対象で、全国に約90カ所ある。聖地は全国に約140カ所。ノートルダム八戸は、2015年4月に、青森県で初めてサテライトに選ばれた。

フェンスは屋外に設置され、華道家の假屋崎省吾さんがプロデュースした鍵を取り付けることができる。式典では、同式場で結婚式を挙げた夫婦や、これから予定するカップルら33組が集い、記念の鍵を取り付けて愛を誓っていた。宮川紘子支配人は「結婚式の目的以外でも、多くのカップルに訪れてもらえたら」と話した。

（田中周菜）